

エフエージェイ3



食品業を中心に、製造業現場への派遣業務を行っているエフエージェイ社。その取り組みを紹介する3回目、前回登場した森戸綾子さんに「働く楽しさ」を気づかせてくれたという同社の「ハイブリッド派遣」について具体的に紹介する。

■従業員の心をつかむ

「どうやったら現場のみなが楽しく仕事ができるか。そればかりを追求する毎日です」と語るのは、同社・栃木第一事業所の内田博之事業所長(46)＝顔写真＝だ。



同社のハイブリッド派遣は、派遣先で同社の社員と派遣スタッフチームとなって一緒に働くことで、従業員管理や教育指導も引き受ける方式。食品業に特化した強みを生かして工場の立ち上げから参画し、従業員の募集、管理、教育までい

声掛けで築いた信頼

現場での内田氏の重要な役割は、派遣先と派遣社員との間の「グッション役」だ。通常業務の仲立ちもあるが、いちばん大事なのは従業員の不満や不安を相談によってすくい上げ、派遣先企業と一緒に改善に努めること。そのため、できるだけ声掛けを行い、ロッカールームで気軽に話ができるような雰囲気作りには気を配っているという。ときには、そろってカラオケにも出かけることもある。

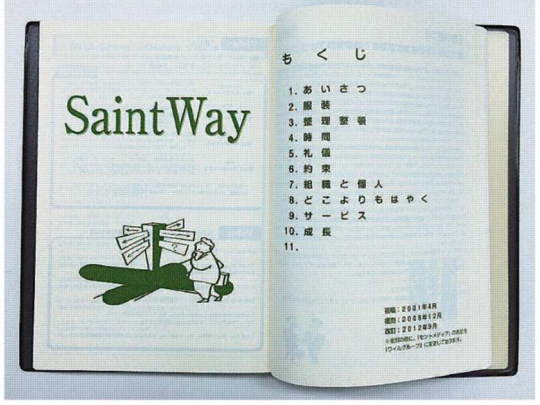
「この工場が3交代制に移行する際も、反発が予想されましたが、皆さんが私の話をよく聞いてくれて大過なく移行できました。『あなたがいるなら安心』と言われて、このシステムの意義を改めて実感しました」

■「食品中心」だからこそ
エフエージェイは食品製造業界に特化した従業員指導・教育のプログラムをもっている。その最大の特徴は、食品業界に求められる「安全・安心」が、あらゆる面で徹底されていることだ。

食品への異物混入などが大きな社会問題になるなか、食品業界で働く人々には、ただ生産性を高めるだけでなく、人の命を預かることの重要性をきちんと認識し、仕事の質を高めることが求められる。

そのため同社は「チームで声をかけ合い、フォローする」ことを徹底している。それが「働く楽しさ」につながる。同時に、仕事の質も向上させるからだ。働き手がストレスなく生き生きと仕事できれば、結果もそれについてくる。

質の高い仕事が続けば、派遣先企業からの信頼性も高まる。エフエージェイは、長年にわたって築き上げた仕事の質の高さで信頼性を維持しているのだ。



エフエージェイが配布している「SaintWay」という冊子には従業員の行動指針が記されている